

(仮称) 奈良県立国際中学校の開校について (案)

以下のとおり、(仮称) 奈良県立国際中学校の開校準備を行う。

1 設置の意義・目的

県立国際高等学校は、主体的に学び、世界で活躍できる人材の育成を目指して令和2年4月に開校したが、さらに中学校を併設し、6年間の特色あるカリキュラムに基づく中高一貫教育を実施することで、グローバル教育の更なる推進を目指すとともに、国際バカロレア認定を目指す。

2 設置形態

県立国際高等学校に、県立中学校を併設し、併設型の中高一貫教育校として運営する。

(学校教育法第71条「同一の設置者が設置する中学校及び高等学校」)

3 中学校の規模

- ・クラス数：2クラス (予定)
- ・生徒定員：80名 (予定)
- ・募集人員：70名 (予定)

1クラスの内訳：一般選抜＝32名、帰国生等選抜＝3名  
(5名は、留学生受入れ枠)

<参考> 令和4年度奈良県立高等学校入学者募集人員

「国際高等学校」 全体：190名

国際科 plus (2クラス)

特色選抜：64名、帰国生徒等特例選抜：6名

国際科 plus 以外 (3クラス)

特色選抜：120名

4 中学校の設置場所

県立国際高等学校内 (奈良市二名町1944番12) (予定)

5 中学校の通学区域

奈良県全域

6 中学校開校までのスケジュール

- ・令和4年3月 1日 定例教育委員会に議案を上程
- ・令和4年3月 21日 (仮称) 県立国際中学校説明会
- ・令和4年6月 県議会に奈良県立高等学校等設置条例の改正案を上程
- ・令和4年7月 奈良県立高等学校等の管理運営に関する規則の改正
- ・令和5年1月 入学者選抜実施
- ・令和5年4月 1日 開校

「県立高等学校適正化実施計画（平成30年10月5日）」より（抜粋）

〔(仮称) 県立国際高等学校〕

- 国際科を設置し、グローバル教育を推進。
- 国際バカロレア認定を目指すこととし、2023年に県立中学校を併設。（予定）